

認知症予防カフェ in マーサ21



コロナ禍の中、認知症予防カフェは開催できませんが・・・

新型コロナウイルスの流行により、私たちの生活は大きく変わりました。これまでとは異なる生活様式に戸惑われたのではないのでしょうか。当たり前前にできていたことができず、ストレスを感じることはありませんか？ 家族・友人との会話や外出の機会が減り、「今は我慢の時」だからと頑張りすぎていませんか？

今回、表面は「岐阜県認知症疾患医療センター」から認知症の**早期発見・早期治療**の大切さ、裏面は「認知症の人と家族の会」の活動についてお伝えしたいと思います。

★ 認知症とは...

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気に起因するものです。
 脳の働きが悪くなることでさまざまな支障が生じる状態を指します。
周りの人が今までの生活上の変化を捉え、理解することが大切です。

★ 認知症と加齢による物忘れの違い

【認知症による物忘れ】

- ・体験全体を忘れる
- ・ヒントを与えられても思い出せない
- ・時間や場所などの見当がつかない
- ・日常生活に支障がある
- ・物忘れに対して自覚がない

【加齢による物忘れ】

- ・体験の一部を忘れる
- ・ヒントを与えられると思い出せる
- ・時間や場所など見当がつく
- ・日常生活に支障はない
- ・物忘れに対して自覚がある

★ 早期発見・早期治療のメリット

① 認知症とよく似た症状を示す別の病気もある

病気の原因によっては、治療し症状が改善する可能性がある

② 認知症が進行する前に準備をすることができる

認知症の初期であれば、治療方針や介護保険サービスの選択等、将来に向けた備えができる

③ 認知症の進行への対策ができる

服薬や生活習慣等の改善により、進行を穏やかにできる可能性がある



些細なことでも心配なことがありましたら
 裏面のお問い合わせ先にお気軽にご相談下さい♪

裏面へ





認知症になっても安心して暮らせる社会を

認知症の人と家族の会



岐阜県支部 活動紹介

おかげさまで、岐阜県支部は発足40周年



「公益社団法人認知症の人と家族の会」は1980年に設立。47都道府県に支部があり、認知症の本人、家族、専門職など11,000人の会員が励ましあい、助け合って、「認知症になっても安心して暮らせる社会」をめざして活動をしています。岐阜県支部も本部と同じ年に設立され40周年を迎えました。

活動の3つの柱、①つどい（交流する）②会報発行（知る・学ぶ）③電話相談（相談する）の他、認知症の人にやさしい地域づくりに向けた、行政・医師会をはじめ各団体の会議への出席や交流、アルツハイマーデー記念講演会、リーフレットの配布など、認知症への理解を深め広げる活動を行っています。

つどい



つどいに参加することで「自分は一人じゃない、仲間がいる」と知ることが出来ます。
(感染防止で現在は休止しています)

- ◇ 介護家族のつどい
- ◇ 本人若年のつどい
- ◇ 男性介護者のつどい
- ◇ グリーフのつどい



= 活動の3本柱 =

電話相談



介護での悩みやご相談について、事務局まで、お電話などお気軽にご相談ください。**会員以外の方のご相談大歓迎です。**

☎ : 058-214-8690
FAX: 058-296-7666



☆すぐにお電話に出ることができない時は伝言など着信を残していただき、折返しお電話いたします。

会報発行



支部会報「れんげ」を毎月発行しています。会員の方へは本部発行の会報とともに送っています。ニュース、介護保険情報、医療知識、会員の声、介護へのアドバイスなど、さまざまな情報が満載。



本部会報ぼ～れぼ～れ 支部会報れんげ

= 世界アルツハイマー月間(9月) =

ライトアップイベント



認知症のシンボルカラー
オレンジ色に染まる
郡上八幡城

〈写真提供〉
郡上市地域包括センターより

= アルツハイマーデー(9月21日)記念講演会 =

上田諭先生 「不幸な認知症、幸せな認知症」



令和元年<月>日(土)
OKBふれあい会館にて

☆入会のご案内☆ 認知症に関心のある方なたでも入会できます。(下記の岐阜県支部までお電話下さい)

～お問合せ先～

岐阜市地域包括支援センター北部
岐阜県認知症疾患医療センター黒野病院
認知症の人と家族の会 岐阜県支部

TEL : 058-295-4510
TEL : 058-234-7038
TEL : 058-214-8690

